



平成 29 年 2 月 20 日(月)

のしろ市民まちづくりフォーラム 編

2 月 20 日(月)、能代市海詠坂の木材高度加工研究所において「のしろ市民まちづくりフォーラム」を開催しました。

当日は春二番が吹く荒天のなか、約 40 名の熱心な市民の皆様に参加していただきました。

今年の講師には、まちづくり観光デザインセンター代表のかとうけいこさん(なんと今回が能代宿泊 60 泊目!)をお迎えし、「地理的価値を活かしたマーケティングで、もっと魅力的な能代へ」と題してご講演いただきました。

様々な話題の中で特に印象的だったのが、観光で能代に訪れた人たちが「わざわざ行きたい場所」、「死ぬまでに行きたい場所」、「大切な人と行きたい場所」、「何度も行きたい場所」と思えるような街にしていくことが重要だと教えてくださったことです。「自然豊かだ」、「海鮮が美味しい」などのコンテンツは能代だけではありません。

このような場所にしていくためには“地域 DNA を活かしたコンテンツ”を“統一したコンセプト”で“印象的な写真と短いコピー”を使って“ターゲットを絞って”PR していくことが必要だと、かなり具体的なアドバイスまでいただきました。

また、PR をするだけでは「何度も行きたい」と思えるような観光地にはならず、根拠と情報がしっかりしたプロモーションが必要になるとのこと。旅行したいと思っている人が、自宅で旅行先を考えているとき、HP など的印象に残る写真やキャッチコピーを見て、能代に行ってみたいと思ってもらうには、問い合わせに対応できる「わかりやすいワンストップ窓口」や多言語の WEB などを設けることで、対応力をあげることが大切になってくるのだそうです。

私がある場所に観光した際、タクシーの運転手に、「この地域に来たら行っておいの方がいい場所ってありますか」と尋



フォーラム会場の様子



のしろ白神ネットワーク
能登代表の開会挨拶



まちづくり観光デザインセンター
かとう代表の講演



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

ねてみたことがあります。そこそこ有名な地域ではありましたが、旅行本を見てもあまりピンとくるものが無かったからです。しかし、運転手さんは「1日で全部みれるわけない…」と思うくらいたくさんのおススメを教えてくださいました。しかも、「全部行ってみたい。」と思うような魅力があり、実際にいくつか教えてもらった場所に行ってみました。とても良い場所でした。

たしかに、本やHPで見た情報ではなく、地元の人と話したこと、教えてもらったことは印象に残るものだと思います。そしてそういう場所にこそ、また来たいな、アットホームな街だなと思える場所になるのではないかなと思います。

能代を「わざわざ」、「死ぬまでに」、「大切な人と」、「何度も」行きたい場所と思ってもらえるような魅力的な場所にしていくためには能代の住民みんなで協力していくことが大事です。地域の方々にもぜひフォーラムに参加していただき、かとうさんのお話を聴いてほしいと思います。

また、今回のフォーラムではかとうさんだけでなく、情報提供として、能代河川国道事務所の坂憲浩所長に「日沿道の整備状況と効果」について、能代市二ツ井地域振興局総務企画課地域振興室の安井室長に「道の駅ふたつじ整備事業」について講演していただきました。

のしろまちづくりフォーラムでは能代のまちづくりについて真剣に考える機会になります。地域の方々にも積極的に参加していただき、みんなで能代のまちを今よりもっと良い街へ変えていきたいですね。

さいごに、かとうさん、今後も能代に来ていただいて「能代宿泊数記録」をどんどん伸ばしていただきたいと思います。

今後も能代の魅力あるまちづくりへのお力添えをどうかよろしくお願い致します。

文：川村 綾



国土交通省 東北地方整備局
能代河川国道事務所 坂所長



能代市二ツ井地域振興局
総務企画課地域振興室 安井室長